

安全データシート(SDS)

1. 製品及び会社情報

製品名 : ニッパー専用メンテナンス油
会社名 : ゴッドハンド株式会社
住所 : 新潟県燕市物流センター2-34
電話番号 : 0256-648900
FAX 番号 : 0256-64-8901
緊急連絡電話番号 : 0120-120-215
推奨用途 : ニッパーの防錆、潤滑
使用上の制限 : 模型用工具
整理番号 : GH-NMO-SET

2. 危険有害性の要約

GHS 分類

物理化学的危険性

引火性液体 : 区分 4

健康有害性

皮膚腐食性/刺激性 : 区分 2

眼に対する重篤な損傷性/刺激性 : 区分 2A

皮膚感作性 : 区分 1

発がん性 : 区分 2

誤えん有害性 : 区分 1

環境に対する有害性

水性環境有害性(急性) : 区分 3

水性環境有害性(慢性) : 区分 3

上記以外の危険有害性は、区分に該当しない/分類できない。

ラベル要素

絵表示/シンボル :



注意喚起語 : 危険

危険有害性情報 : 可燃性液体

飲み込んで気道に侵入すると生命に危険のおそれ
皮膚刺激

強い眼刺激
アレルギー性皮膚反応を起こすおそれ
長期継続的影響により水生生物に有毒

注意書き

- 【安全対策】 : 使用前に取扱説明書を入手すること。
全ての安全注意を読み理解するまで取り扱わないこと。
粉じん／煙／ガス／ミスト／蒸気／スプレーの吸入を避けること。
取扱い後は手をよく洗うこと。
環境への放出を避けること。
火花／裸火／高温体等の着火源から遠ざけること。禁煙。
汚染された作業衣は作業場から出さないこと。
保護手袋／保護衣／保護眼鏡／保護面を着用すること。
- 【応急措置】 : 消火には消火剤(二酸化炭素／粉末／泡／乾燥砂など)を使用すること。
皮膚に付着した場合、多量の水と石鹼で洗うこと。
皮膚刺激または発疹が生じた場合は、医師の診断、手当てを受けること。
汚染された衣類を脱ぎ、再使用する場合には洗濯すること。
飲み込んだ場合は、口をすすぎ無理に吐かせず医師の診断をうけること。
眼に入った場合は、水で数分間注意深く洗うこと。次にコンタクトレンズを着用して
いて容易に外せる場合は外すこと。その後も洗浄を続けること。
眼の刺激が続く場合：医師の診断／手当てを受けること。
ばく露またはばく露の懸念がある場合：医師の診断／手当を受けること。
- 【保管】 : 換気の良い場所で保管すること。
施錠して保管すること。
- 【廃棄】 : 内容物や容器を、都道府県知事の許可を受けた専門の廃棄処理業者に業務
委託すること。
- その他 : 以降の情報を参考に安全対策／応急措置／保管／廃棄に関し十分な配慮を
行うこと。

3. 組成及び成分情報

単一製品・混合物の区別	: 混合物
化学名または一般名	: 防錆潤滑剤
成分	: 防錆剤 精製鉱油 灯油 極圧添加剤 化学合成油 酸化防止剤
化学特定式(化学式)	: 特定できない

官報公示番号(化管法、安衛法)	: 非公開
CAS No.	: 非公開
国連分類	: 危険物に該当せず
危険有害性物質	
PRTR 法	指定化学物質 : 非含有
労働安全衛生法 第 57 条第 1 項対象物	: 鉱油 灯油 2.6-ジーターシャリ-ブチル-4-クレゾール キシレン
毒物及び劇物取締法	: 対象物ではない

4. 応急措置

吸入した場合	: 空気の新鮮な場所に移し、呼吸しやすい姿勢で休息させること。 気分の悪いときは直ちに医師の診断、手当を受けること。
皮膚に付着した場合	: 布や紙などでふき取った後、付着した部分を多量の水と石鹼で洗うこと。 皮膚刺激が生じた場合は医師の診断、手当を受けること。
眼に入った場合	: 水で数分間注意深く洗うこと。コンタクトレンズを着用している場合は外すこと。 その後も洗浄を続けること。洗眼後、刺激感が残る場合は眼科医の診断、 手当を受けること。
飲み込んだ場合	: 無理して吐かせないで直ちに医師の診断をうけること。 口の中が汚染されている場合は、水で十分に洗うこと。

備考

ばく露又はばく露の懸念がある場合 : 医師の診察/手当を受けること。

5. 火災時の措置

消火剤	: 消火薬剤(二酸化炭素、粉末、泡、乾燥砂)
使ってはけない消火剤	: 棒状水
特有の危険有害性	: 燃焼する際に一酸化炭素ガス、二酸化炭素ガス、 リン酸化物、硫酸化物等の有毒ガス発生のおそれがある。
特有の消火方法	: 火元への燃焼源を断ち、適切な消火剤を使用して消火する。 消火作業は出来る限り風上から行う。 関係者以外は安全な場所に退避させる。 周囲の設備に散水して冷却する。 消火のための放水等により、製品もしくは化学物質が河川や下水に 流出しないよう適切な処理を行う。
消火作業者の保護と予防措置	: 消火作業者は燃焼ガスを吸い込まないように注意すること。 適切な保護具(手袋、マスク、眼鏡等)を着用すること。

6. 漏出時の措置

- | | |
|------------|--|
| 人体に対する注意事項 | : 作業の際は、ばく露防止のため、適切な保護具を着用して行う。漏出した場所の周辺にロープを張るなどし関係者以外の立ち入りを禁止する。 |
| 環境に対する注意事項 | : 流出した製品が河川や下水に排出され、環境への影響を起こさないようにする。大量の流出には盛り土などで囲って流出を防止する。 |
| 回収、中和 | : 着火源を排除し、ウェス、吸着マット、乾燥砂などに吸着させ密閉できる容器に回収する。 |
| 二次災害の防止策 | : すべての着火源を速やかに取り除き消火用機材を準備する。
回収物の収納容器は、内容物の処分を行うまで密封しておく。 |

7. 取り扱い及び保管上の注意

取り扱い

- | | |
|-------------|---|
| 技術的対策 | : 接触、吸入防止のため、保護手袋や保護眼鏡等の適切な保護具を着用する。 |
| 注意事項 | : 作業場の換気を充分に行う。みだりに蒸気やミストを発生させないこと。 |
| 安全取り扱いの注意事項 | : 使用する前に SDS を入手すること。
すべての安全注意を読み理解するまで取り扱わないこと。
煙/ガス/ミスト/蒸気/スプレーを吸入しないこと。
取り扱い後は手洗い、うがい、洗顔等を充分に行うこと。
指定数量以上の量を取り扱う場合には法で定められた基準に満足する製造所、貯蔵所、取扱所で行うこと。
この製品を取り扱う時に、飲食または喫煙をしないこと。
衣類に付着した場合、汚染された衣服を脱ぎ、再使用する場合には選択をすること。
火気厳禁。火気、静電気、衝撃火花などによる着火源が生じないように注意し、換気の良い場所で行うこと。 |

保管

- | | |
|-----------|--|
| 適切な保管条件 | : ゴミや水分の混入防止のため密栓すること。
直射日光を避け、冷暗所に保管する。
通風を良くし、蒸気が滞留しないようにする。
混触禁止物質(強酸化剤)と分離して保管すること。
消防法に従い適切に保管すること。
火気厳禁。
施錠して保管すること。 |
| 安全な容器包装材料 | : 密栓して保管する。容器は加熱、穴あけ又は切断はしない。 |

8. ばく露防止及び保護措置

設備対策 : 取り扱いは全体または局所排気設備を設置した場所で行う。

管理濃度 : キシレン 50ppm

許容濃度 : 日本産業衛生学会(2021 年度版)3mg/m³(鉱油ミスト)

ACGIH(2019 年度版)TWA 5mg/m³(鉱油ミスト)

日本産業衛生学会(2021 年度版)217mg/m³(キシレン)

ACGIH(2019 年度版)TWA 100ppm(キシレン)

保護具 :

呼吸用保護具 : 状況に応じ有機ガス用防毒マスクを着用すること。

手の保護具 : 状況に応じ非浸透性手袋、耐油性手袋を着用すること。

眼の保護具 : 状況に応じ保護眼鏡を着用すること。

皮膚及び体の保護具:状況に応じ定められた作業衣等を着用すること。

9. 物理的及び化学的性質

外観等	: 褐色透明液体
臭い	: 微臭
密度	: 0.92(15°C g/cm ³)
動粘度	: 11.1(40°C mm ² /s)
pH	: データ無し
溶解性	: 水にほとんど溶解しない
引火点	: 66.0°C
発火点(自然発火温度)	: データなし
融点・凝固点	: データなし
沸点、初留点及び沸点範囲	: データなし
爆発範囲	: データなし
蒸気圧	: データなし
蒸気密度	: データなし
n-オクタノール/水分配係数	: データなし
分解温度	: データなし

10. 安定性及び反応性

化学的安定性	: 常温で暗所に貯蔵・保管された場合は安定である。
危険有害性反応可能性	: 強酸化剤との接触を避ける。
避けるべき条件	: 火気、静電気、衝撃火花、高温物
混触危険物質	: ハロゲン類、強酸類、アルカリ類、酸化性物質と接触しないよう注意する。
危険有害な分解生成物	: 高温下で一酸化炭素が発生するおそれがある。

11. 有害性情報

急性毒性	: データ不足のため分類できない。
皮膚腐食性・刺激性	: 皮膚区分 2 の成分が濃度限界(10%)以上のため、 区分 2 に該当。
眼に対する重篤な損傷性・眼刺激性	: 眼区分 2A の成分が濃度限界(10%)以上のため、 区分 2A に該当。
呼吸器感作性	: データ不足のため分類できない。
皮膚感作性	: 皮膚感作性物質成分が濃度限界(1%)以上のため、 区分 1 に該当
生殖細胞変異原性	: データ不足のため、分類できない
発がん性	: 発がん性物質区分 2 成分が濃度限界 (1%)以上のため、 区分 2 に該当
生殖毒性	: データ不足のため分類できない。
特定臓器毒性(単回ばく露)	: データ不足のため分類できない。
特定臓器毒性(反復ばく露)	: データ不足のため分類できない。
誤えん有害性	: 粘度が 20.5mm ² /s 以下で、誤えん有害性成分が濃度限界 (10%)以上のため、区分 1 に該当。

12. 環境影響情報

生体毒性	: データ不足のため分類できない。
残留性・分解性	: データ不足のため分類できない。
生体蓄積性	: データ不足のため分類できない。
土壤中の移動性	: データ不足のため分類できない。
オゾン層への有害性	: データ不足のため分類できない。

13. 廃棄上の注意

- 残余廃棄物 : 危険有害性情報に注意し、地方自治体又は国の法律に従い処理すること。外部託時は、都道府県知事の許可を受けた産業廃棄物処理業者に処理を委託すること。燃焼処理を行う際には、一酸化炭素ガス, 二酸化炭素ガス, 亜硫酸ガス等の有害物質の発生が懸念されるので、その対策を行うこと。
- 汚染容器及び包装 : 残余廃棄物と同じ方法で廃棄する。

14. 輸送上の注意

国際規約

国連分類	: 該当しない
国連番号	: 該当しない
容器等級	: 該当しない

国内規則

海上規則

海洋汚染防止法	: 油分排出規制(原則禁止)
船舶安全法	: 該当しない
港則法	: 該当しない

航空規制

航空法	: 該当しない
-----	---------

輸送の特定の安全対策及び条件

: 可燃性なので「火気厳禁」。容器から著しく摩擦または動揺を起こさないように運搬する。また指定数量以上の危険物を車両で運搬する場合は、自治省令で定めるところにより、当該車両に標識を備える。またこの場合、当該危険物に該当する消火設備を備える。運搬時の積み重ね高さは、3m 以下とする。
第 1 類及び第 6 類の危険物及び高圧ガスと混載しない。
その他関係法令の定めるところに従う。

15. 適用法令

消防法	: 危険物 第四類 第二石油類 危険等級Ⅲ
労働安全衛生法	: 第 57 条の表示物質を含有する (鉱油、灯油、2.6-ジーターシャリーブチル-4-クレゾール、キシレン) 第 57 条の 2 第 1 項通知物質を含有する (鉱油、灯油、2.6-ジーターシャリーブチル-4-クレゾール、キシレン)
化学物質排出把握管理促進法	: 該当しない
毒劇物取締法	: 該当しない
水質汚濁防止法	: 油分排出規制(許容濃度 5mg/L ノルマルヘキサン抽出分として)
下水道法	: 鉱油類排出規制(5mg/L)
廃棄物の処理及び清掃に関する法律	: 産業廃棄物規制(拡散・流出の禁止)

16. その他の情報

【参考文献】

1. 化学品の分類及び表示に関する世界調和システム(GHS)改定 7 版(国際連合)
2. GHS 対応ラベルおよび SDS の作成マニュアル(厚生労働省医薬食品局 審査管理課化学物質安全対策室)
3. 改正安衛法に基づくラベル作成の手引き(日本化学工業協会)

【改定箇所】

最新の改定箇所は本文に下線をつけています。

【免責事項】

記載内容は当社の最善の努力で作成していますが、記載内容については必ずしも安全性を十分に保障するものではありません。また品質機能を保証するものではありません。取り扱いに際してお客様の責任において、用途・用法に適した安全な使用条件を設定していただきご使用ください。
